



# CHAPTER 27

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理

この章では、Cisco Data Center Network Manager for LAN (DCNM-LAN) で DCNM-LAN サーバ ログ設定機能を管理する方法について説明します。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理の概要」 (P.27-1)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理のライセンス要件」 (P.27-2)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理に関する前提条件」 (P.27-2)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理に関する注意事項と制約事項」 (P.27-3)
- 「DCNM-LAN サーバ ログの設定」 (P.27-3)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の表示」 (P.27-5)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定のフィールドの説明」 (P.27-5)
- 「その他の関連資料」 (P.27-6)
- 「DCNM-LAN サーバ ログ設定の機能の履歴」 (P.27-7)

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理の概要

DCNM-LAN サーバは、その動作を記録したログ ファイルを管理しています。このログ ファイルには、DCNM-LAN 機能とサーバ コンポーネントに関する情報が記録されます。



(注)

DCNM-LAN サーバ ログ設定機能は、Cisco NX-OS デバイスのログ レベルには影響を与えません。DCNM-LAN では、デバイスのログ レベルを設定できません。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ログ レベル」 (P.27-2)
- 「ログ ファイルとその存在場所」 (P.27-2)
- 「仮想化のサポート」 (P.27-2)

## ログ レベル

DCNM-LAN サーバは、ログ メッセージの重大度で順序付けされたログ レベル階層をサポートしています。各レベルには、そのレベルのメッセージに加えて、より重大度の高いすべてのログ メッセージが含まれます。次のログ レベルがあります（重大度の高い順）。

- Fatal Errors
- Errors
- Warnings
- Information
- Debugging
- Verbose

## ログ ファイルとその存在場所

DCNM-LAN サーバは、サーバ ログ メッセージを、次の場所にある `sys.pipe` ファイルに書き出します。

```
INSTALL_DIR\log
```

デフォルトでは、Microsoft Windows Server に DCNM-LAN サーバをインストールする場合、`INSTALL_DIR` は `C:\Program Files\Cisco Systems\dcnm` になっています。

## 仮想化のサポート

DCNM-LAN サーバ ログには、Cisco NX-OS デバイスからのログ メッセージは記録されません。したがって、この機能は仮想化サポートには影響を与えません。

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco DCNM-LAN	DCNM-LAN サーバ ログ設定にはライセンスは必要ありません。ライセンス パッケージに含まれていない機能は Cisco DCNM-LAN にバンドルされており、無料で提供されます。Cisco DCNM LAN エンタープライズ ライセンスの取得とインストールの詳細については、『 <i>Cisco DCNM Installation and Licensing Guide, Release 5.x</i> 』を参照してください。

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理に関する前提条件

DCNM-LAN サーバ ログの設定を管理するには、次の前提条件を満たしている必要があります。

- DCNM-LAN の機能に対してサーバ ログを設定するにはその機能の知識が必要です。

# DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理に関する注意事項と制約事項

DCNM-LAN サーバ ログ設定機能の管理における注意事項と制約事項は次のとおりです。

- ログ レベルの重大度を下げると、ログ ファイルに出力されるメッセージの数が増えます。
- トラブルシューティングを行っている場合を除き、デフォルトのログ設定を使用することを推奨します。
- トラブルシューティングを行っている場合は、関連する機能やサーバ コンポーネントのログ レベルの重大度を下げることがあります。
- 問題が解決したら、関連する機能やサーバ コンポーネントのログ レベルの重大度を元に戻すことを検討します。

## DCNM-LAN サーバ ログの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[デフォルトのログ レベルの設定](#)」 (P.27-3)
- 「[機能またはサーバ コンポーネントの一意なログ レベルの設定](#)」 (P.27-3)
- 「[デフォルトのログ レベルを使用させるための機能またはサーバ コンポーネントの設定](#)」 (P.27-4)

## デフォルトのログ レベルの設定

すべての DCNM-LAN 機能およびサーバ コンポーネントにはデフォルトのログ レベルを設定できません。

### はじめる前に

目的のデフォルト ログ レベルを確認してください。詳細については、「[ログ レベル](#)」 (P.27-2) を参照してください。

### 手順の詳細

- 
- |               |  |
|---------------|--|
| <b>ステップ 1</b> | [Feature Selector] ペインで、[DCNM Server Administration] > [DCNM Server Log Settings] の順に選択します。<br>[Contents] ペインにログ設定が表示されます。 |
| <b>ステップ 2</b> | [Default Logging Level] ドロップダウン リストで、ログ レベルを選択します。   |
| <b>ステップ 3</b> | メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を DCNM-LAN サーバに適用します。   |
- 

## 機能またはサーバ コンポーネントの一意なログ レベルの設定

デフォルトのログ レベルとは別に、機能またはサーバ コンポーネントにログ レベルを設定できます。

## はじめる前に

機能またはサービスの目的のログ レベルを確認してください。詳細については、「[ログ レベル](#)」(P.27-2) を参照してください。

## 手順の詳細

- 
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインで、[DCNM Server Administration] > [DCNM Server Log Settings] の順に選択します。
- [Contents] ペインにログ設定が表示されます。
- ステップ 2** 一意なログ レベルを設定する機能またはサーバ コンポーネントを検索します。
- ステップ 3** その機能またはサーバ コンポーネントの右側にある [Default] チェックボックスをオフにします。
- 機能またはサーバ コンポーネントの [Logging Level] ドロップダウン リストが使用できるようになります。
- ステップ 4** [Logging Level] ドロップダウン リストで、ログ レベルを選択します。詳細については、「[ログ レベル](#)」(P.27-2) を参照してください。
- ステップ 5** メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を DCNM-LAN サーバに適用します。
- 

## デフォルトのログ レベルを使用させるための機能またはサーバ コンポーネントの設定

デフォルトのログ レベルを使用するように機能またはサーバ コンポーネントを設定できます。

## はじめる前に

対象となる機能またはサービスにとってデフォルトのログ レベルが適切であることを確認します。詳細については、「[ログ レベル](#)」(P.27-2) を参照してください。

## 手順の詳細

- 
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインで、[DCNM Server Administration] > [DCNM Server Log Settings] の順に選択します。
- [Contents] ペインにログ設定が表示されます。
- ステップ 2** デフォルトのログ レベルを使用する機能またはサーバ コンポーネントを検索します。
- ステップ 3** その機能またはサービスの右側にある [Default] チェックボックスをオンにします。
- 機能またはサーバ コンポーネントの [Logging Level] ドロップダウン リストが使用不可になります。
- ステップ 4** メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を DCNM-LAN サーバに適用します。
-

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の表示

DCNM-LAN サーバ ユーザ アカウントを表示するには、[Feature Selector] ペインで [DCNM Server Administration] > [DCNM Server Log Settings] の順に選択します。

[Contents] ペインに、デフォルトのログ レベル、機能ログ設定、およびサーバ コンポーネント ログ設定が表示されます。表示される各フィールドの詳細については、「[DCNM-LAN サーバ ログ設定のフィールドの説明](#)」(P.27-5) を参照してください。

## DCNM-LAN サーバ ログ設定のフィールドの説明

ここでは、DCNM-LAN サーバ ログ設定の次の各フィールドについて説明します。

- 「[DCNM-LAN サーバ ログ設定の \[Contents\] ペイン](#)」(P.27-5)

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の [Contents] ペイン

表 27-1 DCNM-LAN サーバ ログ設定の [Contents] ペイン

フィールド	説明
Default Logging Level	[Default] チェックボックスがオンになっている機能またはサーバ コンポーネントのログ レベル。このリストのデフォルト値は [Informational] です。ログ レベルの詳細については、「 <a href="#">ログ レベル</a> 」(P.27-2) を参照してください。
<b>DCNM-LAN の機能</b>	
Default	対応する機能のロギングに、デフォルトのログ レベルまたは機能固有のログ レベルのどちらを使用するかを示します。[Default] チェックボックスをオンにすると、対応する機能のログ レベル リストが使用不可になります。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
AAA	AAA 機能のログ レベル。
ACL	アクセス コントロール リスト機能のログ レベル。
Dot1X	802.1X 機能のログ レベル。
GLBP	ゲートウェイ ロード バランシング プロトコル機能のログ レベル。
Interfaces	インターフェイス機能のログ レベル。
Key Chain	キーチェーン管理機能のログ レベル。
Layer 2 Security	レイヤ 2 セキュリティ機能のログ レベル。次のいずれかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイナミック ARP インспекション</li> <li>• ポート セキュリティ</li> <li>• DHCP スヌーピング</li> <li>• IP ソース ガード</li> <li>• トラフィック ストーム制御</li> </ul>
Object Tracking	オブジェクト トラッキング機能のログ レベル。
Port Channel	ポート セキュリティ機能のログ レベル。
SPAN	SPAN 機能のログ レベル。

表 27-1 DCNM-LAN サーバ ログ設定の [Contents] ペイン (続き)

フィールド	説明
Spanning Tree	STP 機能のログ レベル。
Tunnel	トンネル インターフェイス管理機能のログ レベル。
Virtual Devices	仮想デバイス コンテキスト機能のログ レベル。
VLAN	VLAN 機能のログ レベル。
FabricExtender	Fabric Extender 機能のログ レベル。
VPC	vPC 機能のログ レベル。
HSRP	HSRP 機能のログ レベル。
DEVICE GROUP	デバイス グループ機能のログ レベル。
<b>DCNM-LAN サーバ コンポーネント</b>	
Default	対応するサーバ コンポーネントのロギングに、デフォルトのログ レベルまたはコンポーネント固有のログ レベルのどちらを使用するかを示します。 [Default] チェックボックスをオンにすると、対応するコンポーネントのログ レベル リストが使用不可になります。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
Event	イベント コンポーネントのログ レベル。イベント コンポーネントには、DCNM-LAN がシステムを処理する方法に関するメッセージ、DCNM-LAN がデバイスから取得するアカウントログ、DCNM-LAN によって生成されるイベントなどが含まれます。
Statistics Collection	統計情報データ収集コンポーネントのログ レベル。
Config Archive	コンフィギュレーション変更管理機能によって使われる設定アーカイブ コンポーネントのログ レベル。
Device Connections	DCNM-LAN サーバをデバイスに接続するコンポーネントのログ レベル。
Device Discovery	デバイス ディスカバリを実行するコンポーネントのログ レベル。

## その他の関連資料

DCNM-LAN サーバ ログ設定の管理に関する追加情報については、次を参照してください。

- 「関連資料」 (P.27-6)
- 「標準」 (P.27-7)

## 関連資料

関連項目	参照先
DCNM-LAN のトラブルシューティング	第 30 章 「DCNM-LAN のトラブルシューティング」

## 標準

標準	タイトル
この機能によってサポートされる新しい標準または変更された標準はありません。またこの機能による既存標準のサポートに変更はありません。	—

## DCNM-LAN サーバ ログ設定の機能の履歴

表 27-2 は、この機能のリリースの履歴です。

表 27-2 DCNM-LAN サーバ ログ設定の機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
デバイス グループのロギング	5.0(2)	デバイス グループ機能のログ レベルを設定するためのサポートが追加されました。

